

## 第一次マグロ漁業実習 指導教官だより



本日の午前の実習は、非常操舵訓練！船橋からの舵操作が出来なくなった緊急時に対応するものです。舵機室と船橋とが連絡を取り舵の向きを強制的に変えます。

船橋で舵角指示器を確認します



船橋で舵機室と連絡を取っている生徒



舵機室でも舵の向きを確認します



専攻科生が本科生に説明をしています



ソレノイドのリリーフバルブを強制的に作動させます



船長の指示により操舵部所が発令されます  
油漏れなどが無いか確認します。  
油圧系統・電気系統に異常が無いか確認し船橋へ報告します。  
どちらの方向へ何度舵を切るか確認し、実際に作動させます。  
乗組員の説明を聞き、専攻科生・本科生が体験します。  
生徒はドキドキしながら本物の機械を触ります。

午後は専攻科生全員で岸壁に上がり休憩！三崎港は朝晩と日中の気温差が大きい地域です。



神海丸乗組員と一緒に撮影もしました。



丸めた軍手でキャッチボール、しかし…トンビに空中で盗られてしまいました！  
右側の写真はフェンスの向こうに軍手を落とされ、うなだれる生徒達の様子です。



三崎港で専攻科生全員の集合写真を撮影しました。  
甲板で作業していた乗組員さんも時間を割いて来てくれました！